

“ 農地・水・環境保全 ” 水土里のネットワーク通信

第62号

2012. 12. 1発行
島根県農地・水・環境保全協議会

農地・水の活動組織が出揃いました

10月末で農地・水保全管理支払交付金の
採択申請の受付が終了しました。



農地・水保全管理支払交付金 市町村別一覧表

市町村	共同活動支援交付金(H24~H28)			向上活動支援交付金(H23~H28)			
	組織数	農地面積 (ha)	交付金 (千円)	組織数		農地面積 (ha)	交付金 (千円)
				共同活動 取組組織	中山間直払 等取組組織		
松江市	48	1,390	45,441	16		360	11,750
安来市	46	1,530	49,255	29	18	1,176	42,425
雲南市	82	1,905	60,838	59	5	1,641	60,035
奥出雲町	9	2,607	80,036	9		2,607	89,369
飯南町	22	1,089	33,890	22		1,089	39,132
出雲市	68	4,828	154,019	45	2	2,035	69,281
川本町	10	126	4,420	3		54	2,241
美郷町	29	298	9,424	10		87	3,767
邑南町	8	1,629	53,116	8		1,629	61,713
大田市	27	736	24,905	18	6	541	18,988
浜田市	19	1,043	35,126	9		731	25,563
江津市	15	375	11,797	6		165	7,016
益田市	25	699	18,705	2		333	6,031
津和野町	33	455	14,622	10	1	171	6,239
吉賀町	6	112	3,580	4		94	3,415
海士町	1	111	3,255	1		111	3,554
西ノ島町	1	338	1,015				
知夫村	1	244	733	1		244	801
隠岐の島町	6	174	5,290	4		78	2,703
合計	456	19,692	609,467	256	32	13,147	454,023

今年度、共同活動支援交付金の交付を受け活動に取り組みられる組織は、456組織となりました。昨年度に比べ事業を継続されない組織が81組織、新規34組織、合併8組織、分割20組織となっています。

また、向上活動支援交付金については、今年度143組織が新たに加わり、継続組織と合わせて288組織が取り組まれます。

向上活動支援交付金に取り組みられる活動組織の皆さんには、平成24年度の厳しい予算の中で変更交付申請の手続き等が生じ、ご迷惑をおかけしました。協議会では、今後皆さんの要望に応えるべく一層の予算額の確保に努めていきます。

農村振興リーダー研修に参加して

神門地区農地と水と環境を守る会（出雲市）
副会長 藤原光雄



今年も、農村振興リーダー研修が全国農村振興技術連盟の主催で開催され、中国四国ブロックは平成24年9月26日（水）～28日（金）岡山農業共済会館にて行われました。

参加者は41名と例年に比べ少なく、島根県からは「大東うしお農水保全組合（雲南市）」と「神門地区農地と水と環境を守る会（出雲市）」が参加しました。

1日目は昨年度から始まった向上活動に関連する活動事例の紹介などがあり「住民参加型直営施工の取組み」の講義が関心を引きました。

〈事例Ⅰ〉 青森県外ヶ浜町黒山地区の土水路の改修

- 中山間地域で水路を憩いの場としたい・地域の人達で実施したいなどの想いで検討し実施。
- 自治会、水利組合、農地・水が施工し、地域環境資源センター、県土連、土地改良区が協力。
- 丸太杭を使用した水路で1年に100mずつ実施、年間8～9日の作業で参加人数9～13名、費用1,034,691円、（請負にすると2,509,500円）

〈事例Ⅱ〉 山形県河北町泉地区の水田メダカの観察用木道（仮設型）を設置

- 平成20年にメダカを保全し環境教育活動を行う「めだかの学校」を開校。平成22年～24年に、丸太杭打ちや石積みで水路を自主施工し田んぼの中に地域の創意工夫で造った水田メダカの観察用木道（仮設型）を設置。
- 自治会、民生児童委員、母子福祉委員などと協力して実施。
- 作業10日間、人数6名、直営で1,298,495円（参考請負では1,902,600円）さらに田んぼの横に丸太で造った木道、看板も設置。

*直営施工のメリットは

安価に実施できること、施設の改修・補修が容易であること、地域の創意・工夫を集結

*実施において注意すること

集落単位で複数の組織から参加し目的、目標を明確化し段取り八分（準備段階が重要）

*失敗・課題はあって当たり前、その次につなげる展開をめざす

2日目は地域活性化に向けて

「集落（地域）の現状認識」から「地域の夢」を語ると題して参加者をグループ分けしワークショップ形式の実践研修が行われました。

3日目は中国四国管内の事例発表の後、昨日の成果発表が各グループから行われました。

「神門地区農地と水と環境を守る会」でも、自主施工により水路やため池の取水口の補修等を実施してきました。この研修に参加して、これからも地域の皆さんの故郷への思いも聞きながら、組織内で意見や技術を出し合い活動を進めていく大事さを改めて認識しました。

* * * * * 共同活動に取り組む皆さんへ * * * * *

実りの秋が足早に過ぎて、今年も残すところ1ヶ月になりました。年末で忙しい時期ですが、今年4月からの活動や会計について一度確認をしてみましょう。

活動について

- 協定に位置付けた農用地、水路、農道等を点検、機能診断をされた記録を取っておきましょう。
 - ・ 遊休農地等の発生状況、畦畔、農用地法面、鳥獣害防護柵等の状況
 - ・ 水路等の雑草の繁茂や泥の堆積状況、施設の劣化状況等
〔 所定の様式はありませんので、1期対策で使用された様式や位置図を使って各施設の状況を記録、管理しておきましょう。 〕
- 遊休農地発生防止のための保安全管理、畦畔、農用地法面・防風林等の草刈り、水路等各施設の草刈り、泥上げ（ため池を除く）は、毎年実施が必要です。
- 各施設やそれに付帯する施設（防護柵、ゲート、側溝等）は、点検・機能診断に基づいて、補修等を実施し適正に管理してください。
- 農村環境保全活動について、計画書で定めたテーマに該当する【計画策定】、【啓発・普及】、【実践活動】をそれぞれ1つ以上実施します。
例えば、テーマ：「地域環境の保全」
活動項目：施設等の定期的な巡回点検・清掃（水路や農道沿いのゴミ拾い）
 - ・【計画策定】5月、7月、3月に計画
 - ・【啓発・普及】ゴミマップ（地図）の作成（ゴミがよく捨てられている箇所のマップ）
集会所等へ掲示
 - ・【実践活動】地域のゴミ拾いを子ども会を中心に実施など



会計について

- 平成24年度の活動にかかった経費は、平成24年度の会計で処理します。4月からの支払いで払い忘れがないか、確認してみましょう。
- 出納簿を記入される際、活動に対しての支払いについては活動日を忘れずに記入しましょう。



※毎年度の活動終了後には、活動の実績を実施状況報告書に取りまとめ市町村に提出する必要があります。その際には、日々の活動を記録した活動記録、写真整理帳及び金銭出納簿も提出が必要です。活動記録、写真整理帳については、1期対策と様式が変更になっていますので再度確認して作成をお願いします。



予告 「事務実務研修会」を開催します。

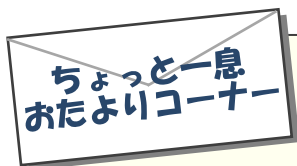
1月19日(土) 会場：土地改良事業団体連合会(松江市黒田町)
1月20日(日) 会場：浜田合同庁舎大会議室(浜田市片庭町)

協議会では、これまで「水路補修」や「カバープランツ」等の研修会を実施してきましたが、今年度は、「事務実務研修会」を下記の内容で行います。

- ① 共同活動、向上活動における「工事の外部発注から検査まで」
- ② 活動事例発表
- ③ 年度末の実施状況報告書の作成について

当日は、研修終了後、向上活動についての相談コーナーも設けます。

研修会の案内、申込書は来月号(1月号)のネットワーク通信に同封しますが、日程の都合上申込み締切が1月7日(月)となりますので、事前に組織内で参加される方の調整等をお願いします。(この研修は、共同活動の「機能診断・補修技術等の研修」の活動項目に該当します。)



活動組織同士で意見交換を 協議会事務局



古曾志上組には「中正路大地の会(大田市)」も視察に来訪

論田環境保全組合(安来市)は、11月18日(日)に古曾志上組保全会(松江市)のカバープランツを視察されました。当日は、古曾志上組保全会の農用地法面への松葉ポタンの植栽地を見学され、活動について説明を受けられました。

論田では芝桜やヒメイワダシソウでカバープランツを行っておられ、お互いのカバープランツの工夫されている点や地域の景観保全について意見を交わされました。

カバープランツは、草刈りの軽減や地域の景観形成のために有効な活動です。お互いの活動事例を参考に、一層地域での活動を進めてください。

【投稿規定】

郵便番号、住所、氏名、電話番号、組織の方ならば活動組織名を明記。
郵便、ファックス、メール、電話での投稿。次号への掲載は、前月20日ころまでに必着。
宛先は、〒690-0876 松江市黒田町 432-1 水土里ネット島根「おたよりコーナー」係。
FAX 番号 (0852) 24-0848、電子メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp



～担当者の声～

いよいよ師走。なんだか気ぜわしい時期になってきました。これからは、雪の季節でもあります。昨年度は、大雪で向上活動の工事が思うように出来なくて、大変な思いをされたことも記憶に新しいと思います。現時点の気象庁の向こう3ヶ月の予報では、平年と同様に曇りや雨または雪が多いとのこと。大雪にならないことを祈るのみです。(協議会 T)

～農地・水保全管理支払交付金に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで

〔事務局〕水土里ネット島根 Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ

Tel 0852-22-6262

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



伊野農地保全の会(出雲市)

